



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL https://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/2023年7月31日

交通安全活動を続けて50年

青森交通安全協会問屋町支部

青森交通安全協会問屋町支部は1973年4月14日に設立され、今年で創立50周年を迎えた。

6月29日(木)に支部創立50周年を記念した式典を開催し、会員及び関係機関合わせて54名が出席した。

式典では工藤支部長の挨拶の後、青森警察署の長尾交通

第一課長と青森交通安全協会の沼田会長から祝辞が寄せられた。つづいて交通安全教室が行われ、参加者は青森県警

から派遣された「交通安全ふれあい号」にて運転能力診断を体験。同診断は光るボタンを押すだけのものぐらたたきの

ような楽しい検査で、認知・判断・動作の速さや正確性の

ほか、運転中に自身が見えにくい箇所も判定。結果はその場で印刷され各自に配付された。そのほか、専用ゴーグル

による酒酔い状態体験や青森警察署による交通安全講話も行われ、参加者は楽しみながら交通安全について学んだ。

当日は式典に先立ち、第50回定時総会を開催。はじめに、



安協問屋町支部創立50周年記念式典



専用ゴーグルで酒酔い状態体験



ふれあい号で運転能力診断

昨年度の間屋町交通安全街頭指導に3回以上参加した企業に功労賞が贈られ、受賞者を代表して三協運輸(株)と(株)金入に賞状と記念品が手渡された。

総会では工藤支部長が議長に選任され、2022年度決算及び2023年度事業計画・収支予算案が原案どおり承認された。また、任期満了に伴う役員改選では、工藤支

青森明の星高校で企業紹介セミナーを初開催

組合では、6月14日(水)に青森明の星高校で企業紹介セミナーを初開催した。

セミナーには組合員の丸大堀内(株)と(株)角弘が参加。はじめに組合事務局の西田業務課

長が問屋町や卸売業について説明。つづいて組合員2社が写真や動画等を用いて、自社の歴史や事業内容について詳しく紹介した。

高校卒業後に県内就職する高校生の割合は青森県が全国で最下位(約60%)である。

高校生の県内就職が低い要因の一つに、学生の県内企業についての認知度不足が挙げられる。そのような中、2020年度から問屋町ビジネススクールで就職希望学生向けのオーダーメイド講座を利用している青森明の星高校より、卸団地内の企業を知る機会を設けたいとの要望があった。



明の星高校で企業紹介セミナー

今回の試みが非常に好評で、同校より引き続き開催の申し出があった。組合では、地域貢献につながる同セミナーの開催を次年度以降も計画する。

そこで組合の社会貢献活動の一環として、若者の県内定着の一助とすべく、組合員が同校に赴いて仕事や事業内容を紹介する企業紹介セミナーを開催することとなった。

部長をはじめ各役員が重任さされた。青森交通安全協会問屋町支部ではこの後、50周年記念事業として無事故・無違反コンクールの参加促進、交通遺児への寄付、50年のあゆみの作成などを予定。今後も組合と連携して交通安全意識の向上に向けた啓蒙活動等を継続し、安心・安全なまちづくり実現を目指す。

乾電池共同回収実験事業の実施についてなど承認 第3回理事会

2023年度第3回理事会在6月20日(火)に問屋町会館で開かれ、審議の結果、全て原案どおり承認された。

また、事務局からは問屋町大通りへのフラワーボックス設置やリサイクル回収収益金の寄付、北日本流通ヴァン(株)の2022年度決算などについて報告した。

主な案件審議は次のとおり

案件一・事業委員会からの意見について

案件二・企画情報委員会から

健康づくりに向けて集団健康診断開催

問屋町会館2階大会議室で今年度1回目となる集団健康診断が6月6日(火)から8日(木)の3日間で実施され、組合員及び近隣企業から262名が受診した。

当健康診断では一般健康診断のほか、採血による腫瘍マーカー検査、心不全や脳梗塞、心筋梗塞のリスク検査もオプションで追加可能。そのほか、全国健康保険協会(協会けんぽ)加入者を対象とした生活習慣病予防健診では、割安料金で胃部レントゲン検査

の意見について

案件三・環境対策委員会からの意見について

案件四・2023年度の役員報酬について

案件五・2023年度第4回理事会の日程等について

理事会終了後には、青森問屋町配送(株)の第43回定時株主総会が開かれ、提出案件が全て原案どおり承認された。

問屋町会館前で献血

6月27日(火)に問屋町会館における今年度1回目の献血が実施された。移動献血バスで行われた献血には、組合員従業員ら21名が協力した。

査などが含まれた健康診断が受診可能となっている。

健康診断の実施は事業主の義務であり、近年は健康経営の広がりから、健康づくりの第一歩として従業員の健康診断受診率は上昇傾向にある。

しかし、健康診断はあくまでも健康状態を把握する手段であり、診断結果で異常所見があった場合に通院・再検査等の事後措置の実施が不可欠である。ところが青森県では労使双方の意識の低さから事後措置が充分に行われず、現役死が多い要因の一つとなっている。

組合では短命県返上に寄与すべく、今後も健康診断の実



集団健康診断

施をはじめ健康情報の提供などを通じて組合員の健康に対する意識向上を目指し、健康事業を推進していく。



移動献血バスで献血

近年、日本の少子高齢化の影響により献血ができる人口(16~69歳)が減少。10代から30代の献血協力者数はこの10年で30%以上減り、必要な血液量を確保できなくなるお

それがある。

輸血が必要な方に血液を安定的に届けるために、組合では今後も積極的に献血活動への協力を呼びかけていく。

ユアテックが恒例のボランティア清掃を実施

5月29日(月)に(株)ユアテック青森支社・青森営業所合同による清掃活動が行われた。地域貢献ボランティア活動として同社周辺から問屋町地区沿道まで広範囲にわたって従業員がごみ拾いした。

2006年から始まった同活動は毎年春と夏の2回実施しており、同社の恒例行事とな

保健大生が組合員の健康調査

青森県立保健大学では、問屋町の企業を対象としたフィールドワーク「問屋町健康調査実習」を実施した。6月6日(火)と6月9日(金)の2日間、同大学の学生がチームを組んで組合員企業を訪問。生活習慣や健康のために気をつけていることなどについて、企業の健康づくり担当者らに聞き取り調査を行った。

同実習は今年で3回目となり、保健大学の授業の一環で実施。地域で働く人の健康づくりに関する考え方や取り組み



企業を訪問して聞き取り調査

みを学ぶことで学生のヘルスプロモーションに関する理解が深められている。

調査結果はとりまとめられて報告会で発表するなど、地域の健康づくり推進支援に寄与する。



ユアテックがボランティア清掃

なっている。また、同社は組合で実施している問屋町緑のボランティア隊の活動にも積極的に参加するなど、問屋町の景観美化活動に大きく貢献している。

冷熱をデザインする **水/熱/冷**

大青工業株式会社

https://www.taiseiaomori.co.jp

- 設計・施工・メンテナンス
- 水温システム ●凍結・冷蔵設備
- 野菜・予冷設備(真空・差圧強制冷却)
- 真空凍結乾燥設備 ●廃熱回収装置
- CA 設備 ●自動製水設備
- 衛生・給排水設備 ●空調設備

本社 青森市問屋町1丁目9番30号 電話 017(738)2131 FAX 017(738)9333 E-mail: info@taiseiaomori.co.jp

八戸営業所 八戸市石堂3丁目9番13号 電話 0178(20)1561 FAX 0178(20)1562

コロナ対策には換気が一番

どんな窓にでも網戸は取付可能

株式会社KGアンサンプル

〒030-0131 青森市問屋町1丁目5番11号 《共同倉庫D-9》

お問合わせは 0120-579-910 まで

問屋町たんしん

業務報告

主要事項

- 【問屋町SDGs 標語コンクール】
- ①テーマ SDGsに関連した職場やビジネスでの取り組み
 - ②対象 組合員及び関連企業従業員
 - ③表彰 最優秀賞 1点(商品券2万円+フェアトレード商品)
 - 優秀賞 10点(商品券3千円+フェアトレード商品)
 - ④応募メット 2023年9月29日(金)
- 6月
- 2日▽組合員昼食会
 - ▽問屋町経営同友会第44回定時総会
 - 6日▽第1回集団健康診断(8日)
 - 8日▽第3回問屋町合同清掃
 - 12日▽問屋町経営同友会第2回役員会
 - 13日▽パソコンリサイクル回収収益金寄付
 - ▽第1回問屋町従業員モーター会議
 - 14日▽第1回企画情報委員会
 - ▽企業紹介セミナー
 - 6日▽新入社員研修(フォロアップ)
- 15日▽金融審査会
- ▽第1回環境対策委員会
 - 16日▽問屋町花の植え方教室
 - 20日▽第3回理事会
 - ▽青森問屋町配送(株)第43回定時株主総会・第2回取締役会
 - 25日▽第1回問屋町緑のボランティア
 - 27日▽第1回献血
 - 29日▽安協問屋町支部第50回定時総会・創立50周年記念式典
- 13日▽個性心理学を活用したチーム運営術
- 22日▽令和の時代の採用手法で定着率改善
 - 27日▽従業員満足度向上研修
 - 29日▽選ばれる営業担当者になろう

経済雑感

第 二 九 回

あおもりコンピュータカレッジ 校長 千葉 哲泰

前号に引き続き、あおもりコンピュータ・カレッジの千葉校長による経済雑感をお送りする。

今回は、平成30年4月に現職に着任してからの取り組みにつきまして、お話しさせていただければと思います。

少子高齢化が進行し18歳人口が年々減少する中、長年の営業活動のマンネリ化もあり、当カレッジの入学生も減少し、厳しい経営環境下での校長着任となりました。

私の最大の使命は入学生を増やし財政基盤を安定させることで、着任早々、訪問教員

の見直しを行い、ご挨拶を兼ねて県内及び道南の高校を訪問し、入学生の募集に歩きましたが、殆どの生徒が進路を決めており、翌年の平成31年4月の入学者数は定員の60名に届かず、何か新しい魅力の向上をしなければ、来年の入学者数も同様の結果になってしまおうとの危機感が一層高まりました。

その頃、日本でもeスポーツの報道等が取り上げられるようになっており、大都市圏では、eスポーツ専門の学校ができる等、関心が高まっています。青森県内でもeスポーツ協会立ち上げの話も出ていましたので、若い人に関心が高いeスポーツを授業に取り入れ、そ



あおもりコンピュータカレッジ 校長 千葉 哲泰 氏

れをPRすることで多くの若者に興味を持ってもらえるのではないかと考えました。

当カレッジは、情報処理技術者を2年間で育成する機関であり、授業の多くの時間を基本情報や応用情報の国家資格の取得をはじめ、各種検定・資格取得に費やす必要があります。ゲームを育成することではなく、少し目線を変えてeスポーツ大会の企画・運営・配信等を行う人材の育成に特化した「eSportsクリエイト専攻」を選択し、授業の中に取り入れることを理事会に提案し、eSportsクリエイト専攻の新設が理事会で承認されました。

そのことを大々的にPRすることで、令和2年度から定員の60名を越える状況となり、4年間続いた厳しい経営状況から脱却したことで、財務内容も大きく改善し、教職員の意識も高揚され今日に至っています。

今後も益々危惧される少子化の中、若者のニーズを的確にとらえ新たな魅力を加え続け、魅力あるコンピュータ・カレッジを情報発信していきたいと思っております。そして、郷土青森発展のため、卒業生を送り出して参りたいと思っております。

仕事において、毎年同じことを繰り返すのは楽ではありませんが、それではいずれ行き詰まってしまうものと思います。好調な時でもそれに満足することなく、常に次の戦略を準備する必要があると思います。(完)

事務局職員 人事異動のご案内

- ▽事務局長 小田切 勇治
- ▽業務部長 西田 一実
- ▽総務部長 成田 賀子
- ▽業務課長 五十嵐 敦
- ▽総務部主査 春山 心仁 (7月1日付)

短期間のイベントや警備には **レンタル無線機** が最適です

お問合せ下さい

電子部品 無線各種 PC関連 防犯カメラ 放送設備

(株)電技パーツ

青森市第二問屋町 3-6-4 4 他
TEL: 017-739-5656
Email: shop@dengiparts.co.jp

包装資材・厨房用品・ユニフォーム
ギフト用品・タオル等の総合商社

株式会社 金竹成家

〒030-0131 青森市問屋町1丁目7番28号
TEL 017(738)4701 FAX 017(738)4706

社員旅行、インセンティブ旅行、個人旅行、ご出張
青森県知事登録旅行業 3-83 号 / 全国旅行業協会(ANTA)正会員

共和トラベル株式会社

青森県青森市東造道二丁目 3-14
TEL 017-736-2266
FAX 017-736-5522
kyowa-tr@aurora.ocn.ne.jp
総合旅行業務取扱管理者 成田浩二

人と暮らしとエネルギー **HOKUNEN CORPORATION**

北燃商事株式会社

青森支店 〒030-0113 青森市第二問屋町4丁目2番10号
TEL(017)752-8700 FAX(017)752-8703
https://www.hokunen.jp

花いっぱいプロジェクト クトで景観向上

組合では、「問屋町花いっぱいプロジェクト」と題して団地内の景観美化向上を図っている。

2017年から毎年、問屋町大通りへのフラワーボックスの設置を実施。今年も問屋町オリジナルデザインの木製プランターにピンク色のかわいい花が植えられ、50箇所100基設置された。

6月16日(金)には今年で6回目を迎える花の植え方教室を開催した。同教室には組合員従業員15名が参加し、講師を務めた問屋町の景観整備アドバイザーである鈴木野波氏がプランターへの寄せ植え



問屋町大通りのフラワーボックス



花の植え方教室



問屋町緑のボランティア隊

方について指導。参加者は花苗のバランスや用土の量など、実際に寄せ植えをしながら学び、完成させた作品を満足の様子で持ち帰った。
6月25日(日)には問屋町緑のボランティア隊による花苗植栽が行われた。同活動には隊員38名が参加し、問屋町

東口及び第二問屋町北口にマリーゴールドやサルビアなど合わせて千二百ポットの花が植栽された。
また、組合員に無料配送したフラワーボックスのリメイク作業も有料で行われた。今年度は9社から申し込みがあり、新たな花苗が植えられ

組合員敷地内を明るく彩っている。
この「問屋町花いっぱいプロジェクト」の活動によって、団地のイメージが大きく向上。組合員の景観への意識も年々高まっており、自社敷地内の景観整備に取り組み企業も増えてきている。

新会長に聞く

今回は「新会長に聞く」と題して、このたび、青森問屋町経営同友会の新会長に就任された、㈱ガスデンの河田社長にお話を伺った。
河田社長は手持ちの刈払機やチェーンソーを営林署に納めるために東北ガスデン林業として昭和44年10月に設立。その後社名を変更し、夏は刈払機、冬は除雪機を主力商品に営業活動を行っている。

「当社にはオリジナル商品が一つあります。りんご園でりんごを運ぶ時に使う運搬車です。青森のりんごはある程度規格化されているので、それに合わせてカ

ゴも規格化されています。サイズ感や強度をりんご園仕様にしてオリジナル作りをしています。地域に根付いた商売をしていることは、部品や商品をしっ

新会長としての抱負を伺うと「同友会は経営者の集まりなので、自分が取り切れないことが成り立たないことではなく、みんな自主的に動いて楽しんでくれている雰囲気があります。それを邪魔しない程度にちよつとだけ挨拶させていたたくというスタンスでやらせていた



㈱ガスデン 代表取締役 河田 高嗣 氏

自分より年上の経営者の方からは、隣の席に座った時に楽しく会話ができるように話題の振り方などを学びました。また、この会にはこの人良いなと思える人が何人もいま

編集後記

問屋町大通りに恒例のフラワーボックスが設置され、問屋町の景観がぐっと華やかになりました。水やりを依頼した組合員企業の皆様、秋までよろしくお願いいたします

さて、商工ジャーナルの表紙写真を提供するという大変光栄な機会を得ることができました。今年の年明けに商工中金青森支店ユース会の役員会に出席したところ、表紙写真掲載協力者を探しているという話が出て、メンバーからの推薦もあつてその場でご指名をいただきました

眼レフカメラを購入したところ、使用の方がよくわからず。たまに持ち歩く程度ではうまくなるはずもなく、カメラに申し訳ない日々が過ぎていきました(笑)▼2017年に、1年間インスタに毎日1枚写真をアップしようとな念発起1週末はカメラを持って歩き、県内の名所を巡って写真を撮りまくりました。結構大変だった割にカメラの腕は全く上がりませんでした。が、写真のストックを求めてあちこち歩き回ったことで、改めて青森県の景観の素晴らしさを実感しました▼5枚ほど候補を提供した結果、選ばれたのは青森の夏にぴったりな写真。どんな写真が掲載されたのか気になった方は、商工ジャーナル7月号をご覧ください。(小田切)



らーめんはちもり

青森市問屋町2-10-3
TEL 017-752-9215
【営業時間】 11時~15時
【定休日】 毎週日曜日・月曜日



■栄養補助食品 製造(OEM受託) 販売(通信販売、卸販売)
■化粧品卸販売 ■農業資材、環境改善機器等の卸販売

ミリオン株式会社 営業時間 平日:月~金曜 AM9:00~PM6:00
定休日 土・日曜、祝日

〒030-0131 青森市問屋町1丁目9-6
TEL 017-763-0880 FAX 017-763-0881

0120-404-303
http://www.t-mirion.co.jp/

お気軽にご相談ください。
オリジナルサプリメント製品をデザイン設計から製造まで一貫して行います。
試作・小ロット・大口外まで対応。